CHICCO TESTA

Chairman of the Board of Telit Communications Plc and E.V.A – Energie Valsabbia, a company developing hydropower and solar generation plants

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Author
- Environment

Chiccoは現在Telit Communications Plcの取締役会会長EVA – Energie Valsabbiaの取締役会会長、水力発電および太陽光発電プラントの開発会社でありIdea Capital FundsSgrおよびIntecsSpAの取締役会副会長でもあります。

2012年以来、彼はまた、約120社で構成される全国電力企業協会であるAssoelettricaの取締役会の議長であり、石油およびガスの探査、開発、生産に従事するMediterranean OilGasPlcの非常勤取締役でもあります。

彼はまたWECは世界エネルギー会議によって推進され、2007年11月にローマで開催された第20回世界エネルギー会議の組織委員会の委員長を務めています。

1980年から1987年まで、テスタ氏は国務長官、そしてレガンビエンテの国家大統領でした。 1987年から1994年にかけて、2つの立法府で、イタリア議会、イタリア代議院、環境委員会、および領土に選出されました。 1994年から1996年まで、彼はACEARome's Electricity and Water Co.の取締役会会長を務めました。1996年から2002年まで、彼は最も重要な電気イタリア企業であるEnel Spaの取締役会会長を務め、1997年にテスタが取締役会のメンバーに選出された3番目のTLCイタリア企業であるWind

2002年から2005年まで、カーライルヨーロッパの諮問委員会のメンバー、カーライルグループ（プライベートエクイティ）の関連会社STA Spaローマ市のモビリティエージェンシー）の取締役会会長、京都クラブ（ローマ市のモビリティエージェンシー）の会長を務めました。京都議定書で定められた目的の達成を目的とする非営利団体）。 2005年から2009年まで、彼はローマメトロポリタンの会長を務め、ローマ評議会が所有する会社で、首都の新しい地下線の建設を担当していました。

テスタはジャーナリストであり、彼は最も重要な日刊および週刊のイタリアの新聞のいくつかに寄稿しています。彼はローマのLUISSスクールマネジメントMBAプログラム経済学と公益事業の経営学）の教授であり、マチェラータ大学とナポリ大学の経済環境学の教授でした。 2008年に、彼はGli StruzziEinaudiが発行したTornarealNucleareL'ItaliaI'energiaI'ambienteという本を書き、ブログwww.newclear.itを作成しました。これは、誰もが記事について話し合い、公開できるWebサイトです。 、ニュース、核問題に関するデータ。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988